

新潟・白音諾勒村 "ふれるいの森" 植樹の旅

事業実施

特定非営利活動法人 新 潟 県 日 中 友 好 協 会

新潟・白音諾勒村 "ふれあいの森" 植樹の旅

2002年11月 黒龍江省政府より、嫩江流域の植樹造林計画への協力要請を受ける。

2003年12月 JICA「市民参加推進事業」に依る可能性調査経費 助成を受け、現地調査・打合せミッションを派遣。

2004年07月 (財)新潟市国際交流協会の助成を受け、第二次現地調査・打合せミッションを派遣。

2005年03月 JICA「草の根技術協力(地域提案型)」の採択を受け、 両県省民参加植樹事業実施を決定。

2005年07月 (財)新潟県国際交流協会の助成を受け、植樹ボランティアを派遣し、0.52haに樟子松800本を植栽。

2006年07月 (財)新潟県国際交流協会の助成を受け植樹ボラン ティアを派遣し、0.48haに樟子松930本を植栽。

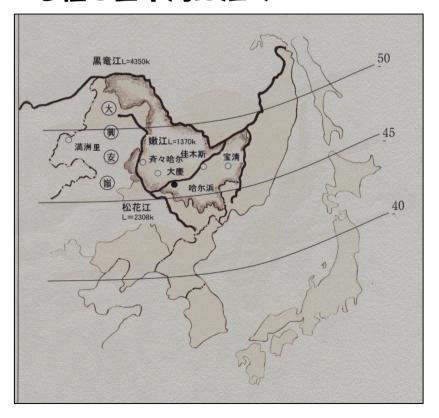
2007年07月 (財)新潟県国際交流協会の助成を受け植樹ボランティアを派遣し、0.48haに樟子松600本を植栽。

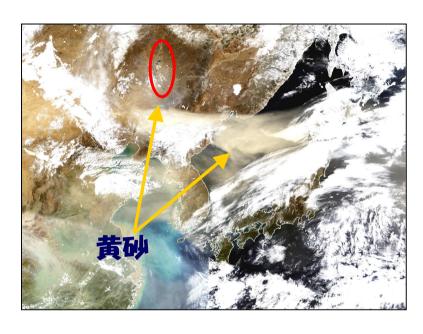
互恵・共生



日本海の海洋環境保全 黄砂の飛来抑止

"嫩江"の河川水は松花江·黒龍江 を経て日本海に注ぐ





日本海を渡る黄砂 2002年3月17日 --東京情報大学MODIS画像集--

○内が嫩江流域

杜爾伯特蒙古族自治県 荒漠化・砂漠化の現況



新店林場付近の移動砂丘



面積:約700ha

撮影:2004年6月2日



面積:約2,500ha

撮影:2004年6月2日

白音諾勒村小学校現校舎

竣工:2002年10月





隣接する 集落の様子

撮影:2004年7月



"ふれあいの森" 植栽地





"ふれあいの森" 植栽地





"ふれあいの森" 植樹を記念した碑



灌水車の準備も

子供たちと 手をとりあって植樹





粒子の細かい砂壌土 のため飛砂が発生し易い

かいがいしい子ともたち





樹種は"樟子松" (ヨーロッパ赤松)

O. 52haに800本を植樹



植樹を終えて・・・全員で記念撮影 (2005年7月)



0. 48haに 樟子松930本を植栽







飛砂が治まればと・・





2005年7月に植栽した 樟子松の現況 (2006年7月撮影)









植樹を終えて (2006年7月)

集落内の道路 (2006年7月)









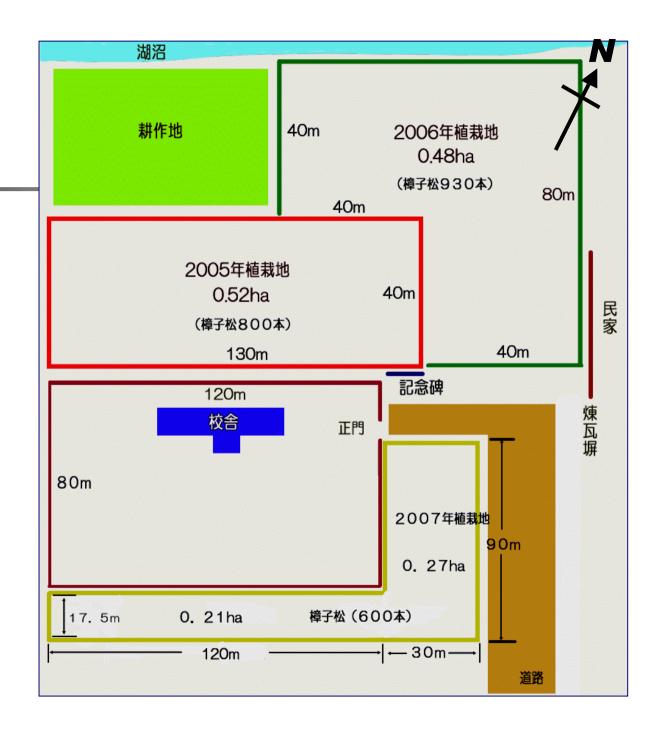






植栽案

2005年 2006年 2007年



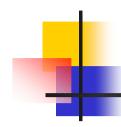
植栽·育成管理経費協力金実績



2005年

		金額	試	明
収入	参加者負担金	45, 000	植樹の旅参加者協賛金(3千円×15名)	
	国際交流団体事業補助金	196, 000	(財)新潟県国際交流協会	
^	合 計	241, 000		
	整地費	5, 670	111株/1亩×7亩×0.50元×RT14.6	
	苗木費	56, 720	111株/1亩×7亩×5. 00元×RT14. 6	
支	植栽費		(777株-300株)×1.00元×RT14.6	
出	標識費	8, 120	556元×RT14. 6	
	育成·管理費	163, 520	160.00元/1亩×7亩×10年×RT14.6	
	合 計	241, 000		

植栽·育成管理経費協力金実績



2006年

		金額	説
	参加者負担金	45,000	植樹の旅参加者協賛金(3千円×15名)
	国際交流団体事業補助金	172,000	(財)新潟県国際交流協会
	合 計	217,000	
	整地費	5,400	110株/1亩×7亩×0.50元×RT13.96
	苗木費	53,750	110株/1亩×7亩×5.00元×RT13.96
+	補植用苗木費	23,000	47株/1亩×7亩×5.00元×RT13.96
又出	植栽費	10,750	110株/1亩×7亩×1.00元×RT13.96
	灌水費	26,400	(10.00元/桶×3桶/1亩)×7亩×3回/年×3年×RT13.96
	育成・管理費	97,700	100.00元/1亩×7亩×10年×RT13.96
	合 計	217.000	

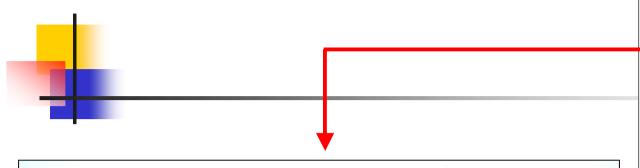
植栽·育成管理経費協力金実績



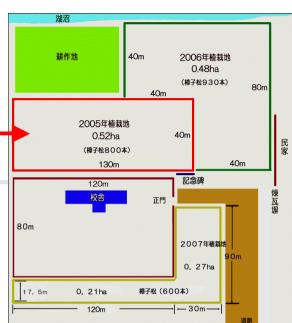
2007年

		金	額	説明
_	自己資金	25.	000	
収 入	国際交流団体事業補助金	137.	000	(財)新潟県国際交流協会
•	合 計	162.	000	
_	整地費	2.	868	84株/1亩×7亩×0. 30元×RT16. 255
支	植栽費	2,	868	84株/1亩×7亩×0. 30元×RT16. 255
	灌水費	30.	722	30. 00元/1亩×7亩×3回/年×3年×RT16. 255
	育成·管理費	79.	650	70. 00元/ 1亩×7亩×10年×RT16. 255
出	苗木費	45.	878	4. 80元/1株×84株/1亩×7亩×RT16. 255
	合 計	162.	000	

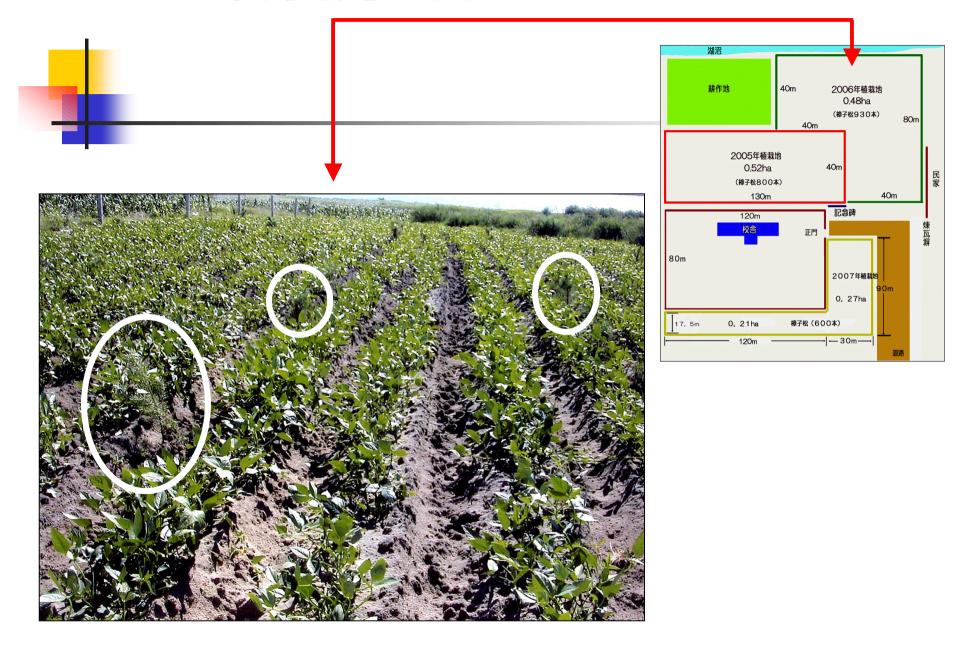
2005年度植栽地の現況







2006年度植栽地の現況



事業の成果



順調に生育すれば、同地のモデル林となるであろうと期待されます。

2. "ふれあいの森" 植樹事業に参加されたボランティアは 三カ年で延べ51名、また2006年9月には新潟大学教育 人間科学部生・院生など22名がスタティーツアーとして現 地を訪れました。

このことは、市民レベルの友好協力関係の拡がりと発展・深化を展望させるものです。



白音諾勒村の生態環境が回復するには半世紀を要すると思われます。それを担うのは同村の子どもたちと判断し、子どもたちが、同村の持続可能な発展に向けた施策とは何かを自律的に学び取ってくれることを期待して実施しました。

現地では、同小学校教職員・生徒や村民など延べ約150 名が植樹に当たりました。

このことから、地域住民による生態環境回復保全事業の自律的展開の基礎を形成することができたと思います。



得られた教訓

2005年の植栽地にはトウモロコシが、2006年の植栽地には大豆が混植されています(2007年現在)。

このことから、現地では、農用地の確保あるいは拡大と 農業生産の増大が第一との認識が一般的であるように思え ます。

植栽した樟子松はおよそ10年で林となり生態環境保全機能を発揮するようになりますが、その時点でこのような認識は見直されるものと期待されます。